

あたる 550 MPa 級（降伏点下限値は 385 MPa）の厚板「HBL385」を開発し¹⁾、2002 年 4 月に建築基準法第 37 条による国土交通大臣の認定を取得した。本鋼材は

このようなニーズに対応し、経済性・耐震性・溶接性を合わせ持ち、鋼材強度あたりの経済性に最も優れた鋼材として、520 MPa 級鋼と 590 MPa 級鋼の中間強度レベルに

極

シールドアーク (CO₂) 溶接継手性能を Table 5 に、ダイ
アフラム -

